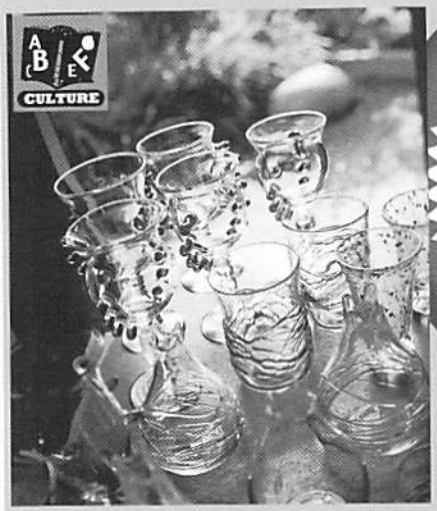
京都のINGを CHECK IT OUT!!

ロコミ情報カタログ

ハガキが語る

好き!嫌い!謎?

8月号の特集は「こわいことあらへん『祇園』へ行ってみたいけど」と思っていたお店の詳細を見ることができてよかった「実際に行ってみようと思った」「手が届かないと思っていた祇園が身近になった」という、狙いドンピシャの意見があるかと思えば、「祇園にはあまり行かないので興味がもてなかった」「『祇園』というテーマで取り上げる店々ですか?」といった辛口のコメントも。多くの人に満足してもらえる一冊を作り上げるのは、とても難しいもの。さて、みなさんにとっての「祇園」、いかがだったでしょうか?



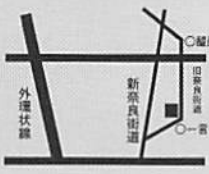
月4回、受講料17000円の一般の教室では、いろんなガラスの器作りにチャレンジ。回を重ねるごとにどんどん楽しくなる

ガラスに命を吹き込んで唯一無二のグラスを作ろう

長〜い竿を口にくわえて息をフーッ。その先にはシャボン玉ならぬ、ガラスのまぁるい玉。型抜きモノとは違って、曲がりも歪みもするけれど、それが吹きガラスの醍醐味。そんなの職人にしか出来ないもんだ!と早々と決めつけないで。ボクの工房で開かれる吹きガラス教室では、いかなるブキッチョさんでもマイグラスが初回から手に入るよ。もちろんサポートもするけど、デザインの最高責任者はあくまでアナタ! 例えばグラスなら、その口を大きくしたり、周りをへこませたり、長〜くしたり短くしたりと自由自在。そんなガラスに負けない自由な発想力で、「世界に1つ」を作ってみたい人はまず、体験教室でガラス工芸をかじりましょう!

小林裕之／Aaty講師 3歳でも出来ます

色選びから完成まで体験教室の所要時間は約45分、料金は3000円。参加はまず電話でご予約を



●Glass Studio Aaty
グラススタジオ アーティ
京都市伏見区醍醐南里町42
☎075・572・6423
営9:30〜12:30 13:00〜16:00／無休
http://www.h3.dion.ne.jp/~aaty

NIGHTSPOT

オンナ一人の気負いは不要 脱力系店長コンちゃんの城

カウンター7席、奥のシートに10席。ボトルの間に並ぶアントニオ猪木グッズ。どうやらファンらしい

夜遊びの解散後、思わず一人で立ち寄る、コンズ・バー。'20〜'30年代のジャズが流れる中、夜はこれからと言わんばかりにビールをグイッが私の定番。「一人酒?寂しそ〜」なる考えもココにくれば、一気に消滅。なぜなら店長・コンちゃんとのトークが楽しいの何の。でもこの方、ホントにやる気あるのかしら? というのも、なんと店内食べ物持込可!そのワケを聞けば「ガス通ってないねん。楽やで〜」の一言。このバカげたアバウトさ…いえ、おおらかさは見習うべき!?強面だけど、笑顔がかわいいコンちゃんとお話してると、気分はすっかりほぐれ切ってお家に帰るのも「まっ、いっかぁ〜」になりそな究極のくつろぎバーなの、ココって。

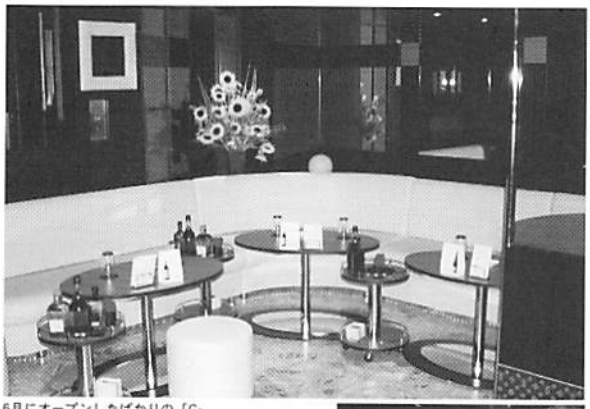
週末にはあのイラストレーターの安西水丸氏が来ることも。氏を経由して、猪木を囲む会を立案中だとか

店長のCDは必聴 長原嘉奈子／美容師

●KON'S BAR
コンズ・バー
京都市中京区三条木屋町下ル材木町178-1
第8小橋会館1F
☎075・212・9319 営20:00〜翌8:00／無休

木屋町の夜遊びにジェネレーションギャップを感じ始めた昨今。とはいえ、祇園デビューするには資金&貫禄不足…。そう嘆きつつ差し掛かった先斗町の新ラウンジは、ちょっと高級感も醸し出してオレ好み。ただフトコロが対応できるかが最大の不安材料。オッ!入口の価格表には20時までは1セット(50分)5000円、20時以降は6000円とあり、嬉しい明朗会計。マジで?な疑念を抱きながらの初入店。3、4人もの女の子とトークを楽しめた夢のようなひと時。さらにドリンク飲み放題ってなことも判明。夜の先斗町は随分カジュアルになったとはいえ、この手のお店はなかったもんだから、正直びびったっス!

お気軽感も高級感も!先斗町ナイトスポット進化



6月にオープンしたばかりの「C-club」は祇園のラウンジ「ZERO」の姉妹店。磨かれたセンスは祇園仕込みとあれば納得

●C-club シークラブ
京都市中京区先斗町四条上ル柏屋町170
かつやビル3F
☎075・231・4555
営19:45〜翌2:00(金土祝前日〜翌3:00)
無休

先斗町へのラウンジ進出はココが初。石畳に映る「C-club」のスポットライトはもはや界隈の名物?!

ドンペリも揃ってる 山岸英文／会社員

GOODS

いつもの料理が違う味わい 秘密は料亭仕様の器にあり

清水焼はもちろん、信楽、九谷、美濃、瀬戸など産地直送で仕入れるから、どれもお手頃。小皿なら300円〜入手可能

観光がてらに京都へやって来た母と東山を探訪中、「器を遊ぶ」と表した粋な器やさんと遭遇。陶器店の仕入部を三十数年間も勤め上げた超ベテランのご主人が、長年かけて培った太〜いパイプでもって、全国津々浦々のやきものを一挙に集めたんだって。そこで私たちが色めき立ったのは料理屋さん御用達の割烹食器の数々。独特の色使いやバラエティに富んだ形の器もあれば、お家でも十分活躍してくれそうなシンプル系も勢ぞろい! さらに店内品のみならず、一般には流通しない割烹食器カタログからのセレクトも可能。コレというのが見つかったら、取り寄せはおまかせしちゃおう! キレイな器に美しく盛り付けてあげれば、いつもの手料理も料亭料理に大変身!?

バラ売りができるお手軽さも手伝ってか20代女性客が多いみたい。若者の陶器離れの心配も取り越し苦労に終わった模様

母も大喜び 高橋真美／学生

●遊器 ゆうき
京都市東山区安井昆沙門町37-5
☎075・532・0731 営10:00〜18:00／無休